

はやま住民福祉センターだより

今月のテーマ

新型コロナウイルス ワクチン接種が始まりました！

5月10日(月)より、ワクチン接種が始まりました。
 予約の受付当初は、「なかなか予約が取れない！」「LINEなんで、できないよ!!」などの声も寄せられましたが、1か月近く経過し、「〇〇日に予約が取れたよ」「息子に予約してもらった」など、次第に予約が取れたとの報告が多くなりました。ワクチン接種には、本会の看護師も協力をさせていただいております。まず、75才以上の高齢者からワクチン接種が始まりましたが、それ以外の人については、葉山町より改めてお知らせがあります。引き続き、感染予防に留意して、蔓延防止にご協力をお願い致します。



福祉文化会館の接種会場まではシャトルバスが無料で利用できます！

ワクチン接種を受けたの方の声(葉桜地区女性)

「接種をしたが、会場のスタッフの方達の対応は素晴らしかった。予約を取るのに散々苦労したが、接種会場での素晴らしい対応で全て吹き飛んでしまいました。ありがとうございます。」

使っていない畑や庭をお借りすることができませんか？

～誰でも参加できる地域の福祉活動(農福連携)を始めませんか??～

「使っていない畑がある。」「庭の草むしりが大変！」「もっと地域の人と交流したい！」

そのような声はありませんか？新型コロナウイルスの影響により、地域の活動が制限され、室内でのイベントや会食などの行事が、密を避けるためになかなか実施されておられません。そのような状況の中で、屋外での活動が注目されています。

葉山町社会福祉協議会では、農作業を通じて地域の繋がりをつくる”農福連携“に着手しております。農作業は、誰でも気軽に参加をやすく、成果物を楽しみに人とふれあいながら作業を行い、収穫することを目指して一連の取り組みを行うことができます。どのような事が期待できるのか。分かりやすくまとめてみました。

高齢者・・・作業ができなくても、人との交流や農作物の観察をすることができる。また昔の経験を次世代に伝えることができます。作業のできる方は、立ち座りや手足を無理せず動かすことで、心地よい貯筋運動になります。

おとな・・・地域の方との交流を通じて、農作業や調理などに関する知識の習得や趣味を増やすことができます。家族で参加すると思い出づくりや、自宅で出来ないことを近所で体験することができます。

子ども・・・一連の農作業を通じて、農業に関する知識や食べ物大切さを学ぶ食育になります。定期的に地域の人と関わることにより、外で遊んでいても目が届きやすく、あいさつなどの交流が生まれます。

農作業を通じて、地域のつながりや人と人との結びつきが生まれます。誰でも参加できる地域の福祉活動を一緒に始めるために、ぜひ使っていない畑や庭先をお持ちの方は、ご協力ください！

こんな土地、ありませんか??ぜひご協力をお願いします！

- ☆5～6人以上が集まって、農作業などができるスペース
- ☆自宅や近くにトイレや休憩ができる場所がある



問合せ:TEL/875-9889 FAX/876-1873 担当:中野